

絶滅危惧種の遺伝子汚染はどの程度起こっているのか？ — 湿生植物サギソウを例とした集団遺伝解析 —



自然・環境再生研究部 生物資源研究グループ

中濱 直之

遺伝子汚染とは？

生き物は、それぞれの地域の環境にあった遺伝子を持っています。もし人間が勝手に生き物を遠くに移動させてしまい移動先の生き物と子孫を作ると、それぞれの地域固有の遺伝子が失われてしまいます。これを「遺伝子汚染」と呼びます。

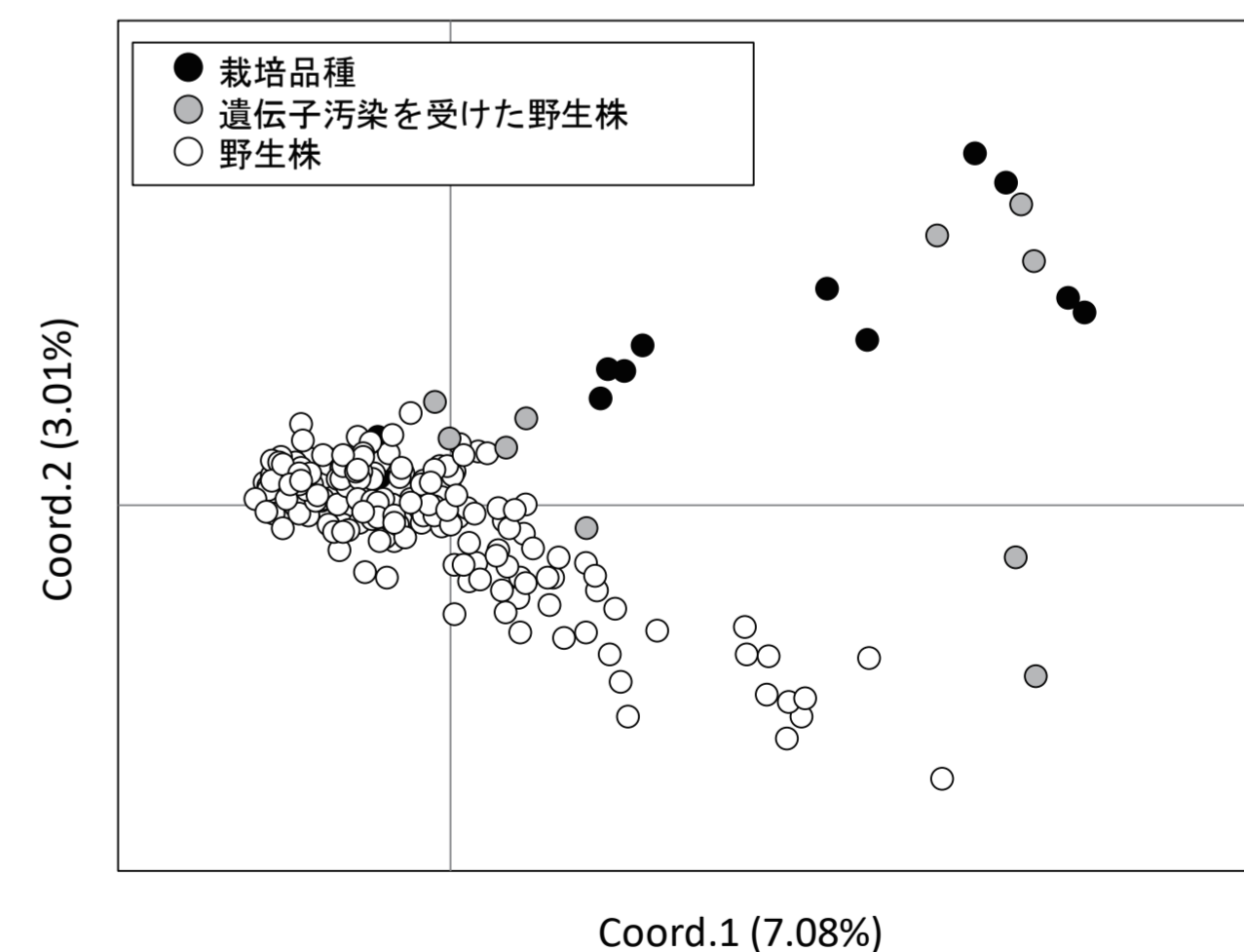
兵庫県内のサギソウの遺伝子汚染

サギソウは、湿地に生育するラン科植物です。花の美しさから人気の高い植物ですが、湿地の減少や盗掘などにより各地で減少傾向にあります。

兵庫県内のサギソウについて遺伝解析を実施したところ、いくつかの生育地で遺伝子汚染が見つかりました。おそらく誰かが野外の生育地に栽培株を植えてしまったと考えられます。野生生物の保全のためには、こうした行為は慎まれるべきです。



サギソウの野生株



主座標分析。各点は解析した株を示す。
点同士が近いほど、遺伝的にも近い。